



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

10月

・年長児が作る家を真似て、保育室にもチ伝ってもらいながら、木ぎれを粗め合わせて家を作り、お家ここを楽しんでいる。
「ここ、(ぼくたちのお家だよ!!)」「×てもいいよ」「そこで靴を履いぞううってね」「はーい」

「ここにおれたちの家を作ろう! ここ座るよ!」



・コンテナに板をのせて、テーブルを作り、
お家ごっこ。
「ごはん作るよ!」「砂持ってきて~」



・こっちは、(ぼくのお家だよ! すごいよ!)
・小さな木ぎれを 積み木のように粗め
合わせてあそんでいる。



「ほら! できたよ! (ぼくたちお家!! 来て~)」
・年上児を真似て、木ぎれを 粗め合わせて
屋根を作ることもできるようになった子ども達。



・木ぎれをイスにしたり、テレビにしたり、お家ごっこを楽しんだあと、
今度は木ぎれを立てて粗め
合わせ、ビルを作つてある。



・(ほら、こうして 削るんだよ! カツオ節だよ)
・木ぎれの間に土を入れ、こすりて、
カツオ節削りっこをしている。



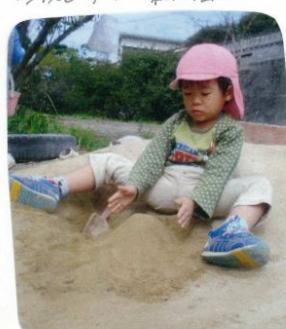
・散歩に行行った先に、登れそうな壁を
見つけると、登るのに挑戦した子ども達。



「温泉作るんだよ」「じゃあ水くんでくま」「ちとともど!!」
・(くたま)を作つて足湯だよ。



・シラスをくずしては集めて、固めて...



「うわあ、と木ない! 手伝って~!!」「引(は)れ~」
「うとこじよど、こいじよど、うとこじよど、こいじよど、
革とろうじた子の猿うに集まつて大きなかぶっこ。」

